平成２６年1月１４日

各　位

会 社 名　マ ル カ キ カ イ 株 式 会 社
代表社名　代表取締役社長　竹下　敏章
（コード番号　7594　東証第一部）
問合せ先　取締役兼執行役員管理本部長
飯田　邦彦
（TEL　072－625－6551）

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、2014 年度から 2016 年度を対象とした中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

１．中期経営計画の基本方針

①基本方針

2013 年度の当社連結売上高は 454 億円、営業利益は 21.9 億円、経常利益は 25.4 億円と、2008 年度の連結売上高の水準まで回復をしてきております。いわゆるリーマンショック後の当社グループを取り巻く厳しい環境から脱し、海外市場を中心に次第に業績は回復をし、今後新たなステージに向かって、業績の安定的成長が重要課題となってまいりました。

当社は、2016 年 12 月に創立 70 周年を迎えます。1946 年に創立し、「人生是誠也」を経営の理念として、「顧客の満足」を経営の基本として、早くから海外に目を向けた事業の展開を推し進めてまいりました。輝かしい創立 70 周年を迎えるため、

「グローバルビジネス」から「ローカリゼーション（経営の現地化）」、「システム営業」から「ソリューションビジネス」への転換を図り、安定的収益を確保できる事業の構築と、強固な経営基盤に取り組んでまいります。

②経営計画のテーマ

そこで、2016 年度までの 3 年間につきましては、事業環境の変化にも対応できるよう、その先にある新たなステージに向かって、安定収益が見込まれる新事業の構築に取り組んでまいります。

○中期経営計画のテーマ

『日米中亜４極体制　新たなステージへ　For　the　Next　Stage』

数値目標は、2016 年度に連結売上高 650 億円、営業利益 35 億円を目指します。

２．事業の成長戦略

当社グループは、設備機械の販売を中心とした事業の展開を行っておりますが、過去においては設備投資に大きく左右される事業環境にあり、安定的に収益を確保できる事業、成長性の高い事業への取り組みが課題であると考えます。

中期経営計画の成長戦略として、次の４つを掲げます。

①【国内営業本部（産業機械、グローバル機材、建設機械）の既存ビジネスを拡大】

・海外進出企業（アジア、中国、メキシコ）を中心とした顧客の獲得
・MM会（マルカメーカー会）の組織拡充と販路拡大
・産業機械、建設機械とも国内設備投資需要の取り込み
・建設機械の輸出拡大
・海外での新メーカー商品の商権獲得

②【海外売上高比率を６５％に】

・海外の地場企業との取引開拓
・海外現地スタッフの増員（経営の現地化）
・北米における新メーカー商品の取扱い開始と市場を拡大
・海外既存地域における拠点網の拡大

③【部品・消耗品、サービス売上を３０％に】

・部品、消耗品、サービス売上高を３０％に引き上げ
・インドネシアにおける自社工場でのサービス、メンテナンス事業を拡充
・北米、アジアにおけるエンジニアリングビジネスを拡大
　北米ＩＴＩ社をビジネスモデルとしてアジアに展開し、システム提案営業からソリューションビジネスへ発展させる

④【海外販売代理店網、新商品、新商権の構築】

・海外調達商品の発掘と物流機能の取り組み
・中国、東南アジアにおける新メーカー商品の販売代理権獲得
・自動車部品の海外調達により、完成車メーカーへ販売と三国間取引拡大に伴う物流機能の取り組み開始

３．セグメント別事業戦略

各セグメント別事業戦略は次の通りです。

【産業機械】

①米州における取扱商品（メーカー）の多様化と市場の拡大。
　・メキシコ市場向け売上倍増
　・電動式、油圧式射出成形機のシェアアップ
②米州日系企業取引拡大

③エンジニアリングビジネス拡大

・北米ＩＴＩ社のエンジニアリングビジネスを拡大

④サービス事業の拡大

・東南アジア、特にインドネシアにおいて自社工場を活用し、サービス・メンテナンス事業拡大

⑤東南アジアの地場企業向け販売を拡大

⑥MM会商品の拡大

⑦国内設備投資需要に対応

【グローバル機材】

①タイの食品機械事業展開

・冷凍冷蔵装置をはじめ、食品機械の販売を軌道に乗せる

②機材商品拡充

・輸入商品の発掘と三国間取引拡大。ベアリングの取り扱いを拡大する

【建設機械】

①国内設備需要に対応

②シンガポール事務所を拠点とした、アジア新興市場向け建機販売、新商権確保

・インドネシア、マレーシアでの新商品商権を獲得

・ミヤンマー、カンボジアなど新市場へ進出

③レンタル事業の拡大

・関東地区の拠点を拡大し内需に対応

【新事業】

①自動車部品の海外調達により、完成車メーカーへ販売と三国間取引拡大に伴う物流機能の取り組み開始

・アジア、中国における自動車部品調達。三国間取引を拡大し物流機能を取り込み、　安定した収益を確保できる事業を構築する

②東南アジア、中国における地場企業との協業

・東南アジア、中国の地場企業とタイアップし、代理店機能を発揮し地場企業向けビジネスを拡大する

４．中期経営計画数値目標(連結)

中期経営計画における数値目標は次の通りです。

(1)連結売上高・営業利益・経常利益　　(単位：百万円)

	2013 年度実績	2014 年度予想	2015 年度予想	2016 年度予想
売　上　高	45,434	50,000	56,000	65,000
営　業　利　益	2,193	2,400	2,800	3,500
経　常　利　益	2,549	2,600	3,000	3,800

(2)セグメント別売上計画　　(単位：百万円)

	2013 年度実績	2014 年度予想	2015 年度予想	2016 年度予想
産業機械	31,938	35,100	39,000	44,925
グローバル機材	6,296	6,400	8,000	10,000
建設機械	7,147	8,440	8,935	10,000
その他	54	60	65	75

注）グローバル機材の数値は、従来産業機械に含まれる。

(3)地域別売上計画（海外売上高）　　(単位：百万円)

	2013 年度実績	2014 年度予想	2015 年度予想	2016 年度予想
日本	18,039	19,800	20,800	22,500
米州	12,616	12,000	13,700	16,140
中国	4,065	5,000	5,600	6,470
東南アジア	10,715	13,200	15,900	19.890
海外比率	60%	60%	63%	65%

注）米州は、北米およびメキシコ。東南アジアはインドを含む。

以上